

令和3年度

くきしりつ あおげしょうがっこう 久喜市立青毛小学校



第2学年



交流体験



特色

- 2学年において障がい者理解をねらいとし「始動！パラリンピックプロジェクト—move the action—」として国語や体育、特別活動等、教科横断的に取り組んだ。学習においては塙保己一学園にゴールボール、ボッチャについてご指導をいただき、障がいのある方との交流としてパラアーチェリー、サウンドテーブルテニスを経験。工夫点として2年生がパラリンピックアンバサダーとなり、身近な人へのプレゼンを繰り返し行った。

児童生徒の感想

- たとえ障がいがあったとしても「足りないところ」をプラスしてあげたら全員が同じスタートラインだと思った。
- 今まで障がいのある方は可哀そうだと思っていたけど、みんな障がいを感じさせない動きで、ぼくたちと変わらないと思った。

成果

- 児童が学習中に得たかけがえのないレガシーを他学年に伝えることで、自分たちの価値観をより一層深めることができた。
- 保護者や地域の方からの反響も大きく、障がい者に対する意識変革が起きた。